

「ヒヤリ・ハット」体験事例

平成30年8月～令和元年7月

分類：収集運搬
事故の型：転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	シート掛け作業中	シートを取るためにキャビンの上のぼる時、雨ではしごが濡れていて足を滑らせ落下しそうになった。	慌てず取手を確実につかみ足はステップに乗せて踏みしめる。低いからと安心して気を抜かない。
2	自社駐車場	10tダンプ乗車時	乗車用のステップから足が滑り転落しそうになった。	10tダンプや重機に乗降りする時は、手足元の確認と三点支持を必ず行う。
3	取引先現場	トラックの荷台から降りようとした時	トラックの荷台の上から降りようとした時に手が滑り落下した。	革手袋は滑るのでしっかりと取手をつかみ、手を掴む場所、足をかける場所に滑り止めテープを貼る。
4	取引先現場	収集作業中	パッカー車から降りる時にステップを踏み外した。	気を緩めず集中する。
5	取引先現場	シート掛け作業中	シートゴムが足にからみつき落下しそうになった。	注意する。
6	取引先現場	ごみの片付け中	荷物を運んでいる時、階段でつまずきしそうになった。	荷物を持ち前が見えない状態の時は慎重に作業する。荷物の持つ量を少しずつにする。

分類：収集運搬
事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路交差点	運搬作業中	交差点を右折する時、切削工事をしていて斜線の幅が狭く工事バリケードも置いていたので内輪差でバリケードに接触しそうになった。	右折時は対向車だけではなくコーナリングの際には慎重に後方も確認する。
2	高速道路	トラック運転中	追い越し車線から来た車が車間距離もあまりないのに無理矢理車線変更してきて追突しそうになった。	片側車線で先頭車両が遅いとゆずりゾーンに差し掛かった時に勢いよくアクセルを踏む車があるので注意する。

3	高速道路料金所	トラック運転中	下り坂でスピードが出過ぎてETCのバーに激突しそうになった。	下り坂は自分が思っている以上にスピードが出ているので注意する。
4	工場内	ホイールローダーで作業中	ホイールローダーで10tダンプ車に碎石を積込作業中、後方を別の車両が通過し接触しそうになった。	指差確認をする。作業をしている傍を通過する際は無線機で知らせる。
5	一般道路	運転中	動物が飛び出してたのでびっくりしてハンドルをきり、反対車線に入ってしまった。対向車がいたらとハッとした。	環境に応じて注意しながら走行する。スピードを出し過ぎない。
6	取引先現場	運転中	団地内の見通しの悪い交差点で子どもが急に飛び出てきた。	交差点内の安全確認及び最徐行運転をする。
7	一般道路	運転中	帰宅ラッシュ時の車が混雑する交差点にさしかかったところ、中型二輪車が車の間を縫うように車の前を通り抜けようとし、接触しそうになった。	常に周囲を意識して、安全を確認しながら走行することを怠らない。
8	一般道路	運転中	交差点を左折しようとした時、前方から来た車が無理に右折してきたので衝突しそうになった。	「かもしれない運転」をし、防衛運転に徹底する。
9	一般道路	運転中	前から走ってきた車が曲がる時、センターラインを越え飛び出てきてぶつかりそうになった。	いつでも止まれるスピードで走っていてももらい事故があるので気を付けて走行する。
10	一般道路	トラック運転中	見通しの悪い交差点で信号が青に変わりトラックを走らせようとした時、信号無視をしたトラックが出てきた。ワンテンポおくれた発車を心掛けているので衝突することはなかった。	ワンテンポ遅れた運転を心掛ける。
11	高速道路IC	トラック運転中	高速道路ICでETCのバーに激突しそうになった。	進入口前後は急カーブが多いのと、慣れていない車両が多いので前車が急ブレーキをかける事もあるので注意する。
12	取引先現場	荷下ろし作業中	大型バーナーを25tレッカーで吊り上げて、計量台に乗せるときに幅がギリギリでもう少しで計量台に接触して故障しそうになった。	事前に大きさを確認する。重機オペレーターと玉掛合図の打合せを実施する。
13	一般道路交差点	運転中	右折しようとしたら信号無視してきた自転車にあたりそうになった。	徐行と目視確認をする。
14	一般道路	廃棄物収集中	車から降りようとした時、カーブで見通しが悪い場所だったので後ろから来た車にひかれそうになった。	後方確認の徹底。

15	一般道路交差点	トラック運転中	交差点進入時、右車線を走行していたら右折する車が止まっていて追突しそうになった。	曲折している交差点では右側に停止している車は視界外になるおそれがあるので注意する。
16	一般道路	運転中	前の車が急ブレーキを踏み追突しそうになった。	十分に車間距離を取る。
17	一般道路交差点	運転中	車が飛び出してきて接触しそうになった。	かもしれないを心掛ける。
18	一般道路	運転中	2車線の道路で追い越し車線を走行中、走行車線を走っていた車が急に右折してきた。	前後の車間距離だけでなく、左右の距離にも注意する。
19	高速道路IC	トラック運転中	スマートICでETCのゲートが一旦停止しないと開かないの知らなかったため、前方の車が一旦停止し、もう少しで衝突しそうになった。	開通当時は数人の担当者が常駐して注意を促していたが、不慣れな車両もあるので注意する。
20	高速道路IC	トラック運転中	高速道路出口で速度メーターを確認せずS字カーブに進入してしまい思ったより速度が出ていて壁に激突しそうになった。	ETC通過後はついスピードが出し過ぎるので積載時走行は特に注意する。
21	取引先現場	運転中	ゴミ庫にバックで寄せている時、横の車から子供が飛び出てきた。徐行して確認していたので事故にはならなかった。	駐車場でバックは最徐行及び目視で確認する。
22	一般道路交差点	トラック運転中	右車線走行中、右折しようとする車が止まっていたため、車線変更しようとしたら、後方からきた車と激突しそうになった。	前方確認をし、また指示器が出ない場合でも前の車は止まる可能性があるため注意する。

分類 : 収集運搬
事故の型 : 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	取引先現場	廃棄物収集中	車を止めて収集している時、スロープの所だったのでホッパーのスライドカバーが動力の振動の為か擦れ落ちてきた。	ストッパーロックの確認をする。
2	取引先現場	木くず積み込み作業中	木くずを大型コンテナ車へ積み込みする時に、木くずの一部が落下してトラックのボディに接触しそうになった。	積み込み前に部材確認、レッカー使用時は玉掛けを確実にし、はずれそうな物は事前に分離しておく。

分 類 : 収集運搬
 事故の型 : その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路	運転中	対向車とすれ違った時左に寄りすぎたためタイヤが溝にはまった。	車から降りて確認する。
2	自社駐車場	4tダンプ運転中	4tダンプを運転中ギアをバックに入れてしまった。	慌てずゆっくり確認してミッションを入れる。
3	取引先現場	積み込み作業中	大型バーナーを10tコンテナ車に乗せる時に突起物が下にきてしまい、コンテナに穴があきそうになった。	積み荷安定のため底部に枕木を敷き荷重分散と突起部分を回避させる。
4	取引先現場	コンテナ新設作業中	コンテナを設置する時に車輪がぬかるみにはまりそうになった。	軟質土間、夏場のアスファルト舗装土間はコンテナ車輪がめり込む事が考えられるので養生対策をする。
5	取引先現場	コンテナシート掛け	荷物を積んでシートをする時に、シートをかけて引っ張ったら荷物に引っ掛かり破れそうになった。	思い込みで行動をしない。逆に思いっきり引っ張った場合、引っかかりが外れて転倒し、けがをする場合があるので注意する。
6	取引先現場	荷下ろし作業中	大型バーナーを吊り、計量へのせて、トレーラーへ積んでシャックルを外そうとしたら、シャックルが緩まなくて、取り外しできなくなりそうになった。	吊荷重に対してシャックルが小さくてボルト部が歪んだのか、元から錆等の影響で支障があったのか、事前確認が必要。
7	取引先現場	コンテナ引き上げ	10tコンテナ車で前と後ろで仕切りを入れて廃プラと木くずを分別して積んでいたが、コンテナを引き上げる時に崩れて分別しておろせなくなりかけた。	積み合わせる場合は中に一つコンテナを入れるか、仕切りシートで分ける場合は重いものを後ろに軽いものを前にする。
8	取引先現場	移動式クレーン(ユニック)作業中	中身の入ったドラム缶を移動式クレーン(ユニック)で吊る時にクレーンを前方にいっぱい伸ばして吊り上げようとしたら後方の荷台が浮き上がりそうになった。	なるべく近くで吊り上げ、また地盤確認、上空に線がないか等確認し、所定の吊具を使用し、地切吊上げをする。
9	取引先現場	コンテナ荷下ろし	ろ布をコンテナで運搬した時、ろ布が汚泥でグツグツになっていて荷物を降ろした後、コンテナの中が汚泥でグツグツで洗浄してもなかなか落ちなかった。	袋に入れてから積みこむことを検討。事前確認・打ち合わせの実施、降雨対策の有無、成分分析依頼の実施を行う。
10	高速道路IC	運転中	高速道路を出ようと思ったら南方面からは出口がなく一つ手前のインターで降りた。	事前手順の確認。

分類：中間処理
事故の型：転落・転倒

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	フォークリフト運転中	パレットが一部割れていた事、圧縮物の重心が少し片方に寄っていたことが要因となり、段差でパレットに積んだ圧縮物が傾き倒れそうになりヒヤリとした。	パレットの点検及び割れている等少しでも気になれば使用しない。また、圧縮物を積んでリフトで持ち上げたとき少しでも重心がずれていれば積み直す。
2	工場内	ビンの選別中	地面に食用油がこぼれていてすべりそうになった。	空ビンでもオイルが入ったものは、少しでも漏れて出たら滑りやすくなるので気を付ける。こぼれていたなら、すぐに拭き取る。
3	工場内	フォークリフト運転中	コンテナヘトラッシュをあけるためにフォークリフトでトラッシュを上あげた時、中身が重すぎてフォークリフトの後ろが浮いた。	トラッシュの中身が重くならないように量を調整する。トラッシュを上げる前に、中身を確認して、無理に上げない。
4	工場内	小型ユンボのグリスアップをしている時	エアーグリスポンプを使用してグリスアップをしている時自分のエアーホースに足をとられて転倒しそうになった。	エアーホースはいつも伸ばし、絡みつかないようにしておく。
5	工場内	重機メンテナンスのためエンジンオイルを運んでいる時	落ちていたフレコンバックの輪に足をひっかけて転倒しそうになった。	作業場の整理整頓、道具は使用したらすぐに片付ける。
6	工場内	タイヤショベルのタラップを登っている時	足が滑って身体を強打しそうになった。	タラップに滑り止めをつけ、あわてずに登る。

分類：中間処理
事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	小型コンテナ入替中	圧縮物がつまれ、ミラーが見えず計量が終わった車とぶつかりそうになった。	ミラー下に圧縮物を置かない。一旦停止厳守。
2	工場内	トラックに積んでいた廃棄物を扉を開けダンプしておろしていた時	扉を止めていたロックレバーが外れた。	コンテナの不備がないか確認、修理、ダンプアップしているトラックの近くに近づかない。

3	工場内	FD25(リフトバケツ付き)で前進中	バケツを真ん中くらいの高さのまま進んだため、向いから来たトラックの存在に気付かず、フロントガラスに接触しそうになった。	死角が多い状態で運転はしない。必ずしも前進で移動する必要がない場合はバックで移動する。地切りを行い走行に支障のない高さにバケツを維持し周囲を確認しながら移動するよう心がける
4	工場内	リフト作業中	暗くなっていたため作業員が見えず接触しそうになった。	ヘルメットに反射テープを張り、確認しやすいようにする。
5	工場内	フォーク付き小型ユンボでソファーを解体している時	ユンボ旋回時、人が近くに来ているのに気が付かず、接触しそうになった。	旋回時周囲の確認を徹底する。必要に応じて立入禁止措置及び立て看板を設置する。
6	工場内	選別作業中	新人作業員がオペレーターに合図を送らず重機の後ろに回り作業した。それに気付き他の作業員が声をかけその場から離れさせた。	作業する際は勝手に作業せず先輩作業員に確認する。
7	工場内	お客様の車両を誘導していた時	誘導している方向と別の方向へ行ってしまい置いてる物にぶつかりそうになった。	もっとわかりやすく声掛けをする。
8	工場内	フォークリフト運転中	フォークリフト運転中、タイヤショベルが後ろを確認せずにバックしてきて接触しそうになった。	お互い確認しながら進行する。バック時は一旦停止し必ず確認を行う。
9	工場内	ホイールローダー運転中	バックした時にフォークリフトの爪と接触しそうになった。	大型重機運転時は作業員はじめ場内を移動するフォークリフトが多いので一旦停止、左右確認、特に後方は確認する。
10	工場内	コンテナの中身を入れ替え中	後ろに作業員がいきなり出てきてコンテナにあたりそうになった。	コンテナの中身の入れ替え時にはなるべく周囲を確認する。

分類 : 中間処理
事故の型 : 飛来・落下

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	工場内	お客様対応中	次々に車が入ってきて混雑になり、荷下ろし場で手伝っていたら足の上に荷物が落ちてきた。	安全具(安全靴)を身に着ける。

分類 : 中間処理
事故の型 : その他

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	一般道路	2t車にて資材の鉄板を運搬中	荷台に積んである鉄板がカーブを曲がった際に少しだけずれた。	ワイヤー及びヒップラーを併用し支持点を増やし固定箇所を改善。また、固定後には指差確認を行い、同乗者にも確認する。
2	工場内	雨天時溶接作業中	体、足元が少し濡れた状態で作業したため軽く電気が流れてしびれた。	電気の通さないゴム製品の着用、ブルーシートで屋根を造り、なるべく濡れないようにする。
3	工場内	廃プラ破碎作業中	住宅用火災警報器が混入しており、火災警報器の中にボタン電池が入っていて摩擦熱で発火した。すぐに消火して大事にはならなかった。	持ち込みした解体業者に連絡し解体作業時に気を付けて取り扱うように依頼、破碎前の粗選別の際、注意深く廃棄物のチェックを行う。
4	工場内	ショベルでコンガラ運搬中	通行路に轍ができていのに気が付かず前輪が深くはまり、後輪が浮いて傾いた。	運搬作業の前及び日頃から通行路の状況の確認、必要があれば整地を行う。

分類：最終処分場
 事故の型：衝突・接触

No	どこで	何をしているとき	なぜ、どうなった	その後の対策
1	自社場内	運転中	上りと下りで鉢合わせになった。	見通しが悪いのをそれを改善するか退避場所を設ける。交互信号の設置。